

# 各国の宗教意識の独自性考察～アジア・太平洋価値観国際比較調査から

二階堂晃祐 調査科学研究センター 特任研究員

**概要**—当センターで2009年から日本、米国、中国文化圏4地点（北京、上海、香港、台湾）、韓国、シンガポール、オーストラリア、インドを対象に実施している上記の調査、及び前身プロジェクトの環太平洋価値観国際比較調査の分析に当たって筆者は主に宗教意識に注目してきた。当初自国の事情に注視するのは自然な事だろうが、この観点から見るとまず注目に値する成果として日本にて目立つ独自の宗教性がある。日本では特定の宗教を信仰している、と回答する人は3割に満たず少数派だが、約7割は特定の宗教に限定されない「宗教的な心」というものを「大事」と答える。他国の事情を観察してみると、韓国や台湾、香港では比較的宗教を持たずとも宗教的な心は大事、と回答する割合は高いが、信仰心も日本より高い。基本的には日本以外の国や地域では、宗派の信仰と宗教的な心にはより強い関連が見られ、信仰はないが宗教的な心は大事、と答える人は多くない事を考えると、上記の点が宗教に関しての日本の一つの独自性と言えよう。ただし、社会科学としてはこれだけでは面白みは少ない。数値的な意味での独自性の発見に留まらず、社会や文化で宗教が持っている影響をより深く考察出来てこそ宗教意識の独自性の意味合いを把握出来ると言えよう。この観点から、筆者は（1）国際比較、更に（2）信仰や宗教的な心への考えと他の様々な社会的、文化的な変数との関係、について分析を進めている。成果はまだ途中経過であり、（2）については日米と中国圏4地点のみだが、以下、現在までに散見された考察点を簡単にまとめてみる。

## 1. 信仰と「宗教的な心」について各国の比較（%値、ただし「宗教的な心が大切か」、に「分からない」は省いたため合計はどの地点でも100%より多少少ない）

信仰の有無	はい		いいえ	
	はい	いいえ	はい	いいえ
宗教的な心大切				
日本2010	25.0	0.7	45.8	18.2
アメリカ2010	69.5	6.1	6.9	12.3
北京2011	11.6	1.9	23.6	54.4
上海2011	19.7	2.8	20.0	34.9
台湾2011	67.3	5.8	15.8	7.1
香港2011	27.2	1.8	28.2	25.0
韓国2012	40.4	2.7	22.6	29.2
豪州2012	40.1	12.5	11.7	32.2
シンガポール2012	71.4	6.9	6.2	12.4
インド2008	74.4	16.7	4.3	3.0

2. 上記のように、日本では信仰を持つ者が少ないにも関わらず、宗教的な心は大切と答える者が多いのが大きな特徴であるのが分かる。

3. では、日本を含む各国では信仰と宗教的な心が大事、と考えるかはそれぞれ他の変数に影響を持つだろうか？特に、信仰はないが宗教的な心が大事、と考える人は何らかの共通した属性、あるいは価値観を持っているだろうか？

## 4. 性別、年齢、教育と収入：

性別→どの国／地域でも関連は見られない。

年齢→影響は地点により異なり複雑だが、日本では「宗教

的な心」との相関は見られない。上海、台湾、香港のみで、若い層の方が、信仰がない者の中で「大切」の率が上がる。教育と収入→中国圏4地点のみで相関が見られる。台湾のみで、教育歴が低い層は信仰が篤い傾向。北京、上海では教育歴と信仰の間には相関が少ないが、信仰を持たない層では高学歴、高収入の方が「宗教的な心が大事」と答える傾向が若干見られる。一方、日米では信仰、「宗教的な心」共に教育歴と相関がない。米では収入が高い方が若干信仰を持つ傾向が見られるが、微々たる影響である。

## 5. 相関のない変数～以下の変数はどの国／地域でも、信仰や「宗教的な心」との相関は実質的に皆無だった：

- ★ 健康満足度
- ★ 不安感（病気、失業、戦争、交通事故、原発事故）
- ★ 階層帰属意識
- ★ 信頼感
- ★ 「科学の進歩と共に世の中から人間味が失われるか」

## 6. 2つの宗教変数のどちらかと相関のある変数：

- ★ 超自然現象を信じるか（神や仏、死後の世界、霊魂）
- ★ 「自分が死んでも、自然の一部になって生き続ける」～日本ではあまり相関はないが、中国圏では信仰がある方が「はい」と答える率が高い。米国では逆であり、信仰がない方が「はい」と答える。
- ★ 離婚をするのは問題ないか～ただし、影響を持つのはどの地点でも主に信仰で、宗教的な心ではない。
- ★ 暮らし方で「過ちをおかさずまじめに生きる」を選択～日本、台湾、米国では信仰、宗教的な心を双方否定しない場合この選択肢を取る人の率が多少上がる。

**まとめ：**ごく一部の変数との軽微な関連を除き、信仰を持たずとも宗教的な心は大切、とする人が目立った属性、あるいは価値観の特性を持っている証拠は日本を含め、どの地点でも今のところ見られない。多変量の解析も今後は課題となる。